

2018年 大発会

1月4日、2018年のスタートを切る大発会を行いました。

福岡市内の会員証券会社の方々をはじめ、市場関係者約60名の皆様にご出席をいただきました。小田原理事長が年頭の挨拶を行い、引き続き理事長の音頭により、証券市場が益々活況を呈しますよう祈念して、吉例の「博多手一本」を入れました。



最後に、原田理事（ふくおか証券株式会社 代表取締役社長）の音頭により威勢よく、乾杯を行いました。



理事長挨拶 (2018年大発会)

理事長の小田原でございます。皆様、新年明けましておめでとうございます。本日、このようにたくさんの市場関係者の皆様にお集まり頂き、平成30年福岡証券取引所 大発会が開催されますこと誠に有難く厚く御礼申し上げます。大発会開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今年は、お隣の国韓国のピョンチャンで2月に冬季オリンピックが開催されます。日本人選手のたくさんのメダル獲得の朗報が届き、国内が湧くことになると思います。また、2年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、建設工事等仕上げの段階に入り、段々オリンピックムードが高まり、お祭り気分も出てきて景気の上昇が期待され、明るい一年になることを願っています。

新年といえば「干支」の話になりますが、今年の干支は「戌の戌」（つちのえのいぬ）です。「戌の戌」というのは、「季節の変わり目」という意味があるようで、今年は「変わり目」あるいは「変化」というのが重要なキーワードになりそうです。そういう意味でいうと、昨今の「IT革命」、「AIの導入」、「IoT」、「ビッグデータ」等、第四次産業革命がいよいよ勢いを増し、「変化の幕明け」になる年かもしれません。

又、相場の格言で戌年は「笑う」だそうです。相場が活況を呈し、笑いの止まらない年「戌笑い」になってほしいと願っています。

さて、国際情勢をみますと、米国は経済的には順調のようですが、トランプ大統領の予測できない動きが注目されます。又、欧州の情勢は、英国のEU離脱交渉の動向、欧州諸国の排外的な自国中心主義の台頭等による政治的不安定さ等、欧州経済の先行き不安なども心配され、世界経済への影響も注目する必要があります。

また、アジアにおいては、相変わらず軍事強国を目指す北朝鮮、さらに中国・韓国と日本との関係など、不安定要素もあります。国際情勢いろいろありますが、各国が互いに協調して、世界経済が良い方向に向かうよう行動していく、そうなるよう期待しています。

一方、国内的には安倍内閣は、2020年のオリンピックを目指して、これまでの経済政策の推進と景気の上昇を最重要課題として取り組むこととなります。

消費増税の実施、働き方改革、子育て支援などの重要課題とともに、景気の好循環を地方経済に確実に浸透させて、現実に地方が元気を取り戻せるよう政府の経済政策に期待したいと思います。

証券市場を見ますと、昨年後半には世界経済の好調もあり、日本の株式市場も盛り上がり、12月には2万2千円台で推移しました。この新年には、更なる上昇も期待されています。先程も申し上げましたが、相場の格言では「戌笑う」だそうですから、私共福証でも売買が盛んで皆さんと笑っていける年になればと願っています。

又、この九州の地は、全国でも屈指のベンチャー企業創業の地といわれています。今年は是非、これらの新興企業と中堅企業から新規上場企業が多数出ることを期待して努力して参りたいと思います。

地域の企業が地元取引所に上場し、その株式が地元取引所で活発に売買される。そのことは、地域マネーが地域経済の活性化に活かされることに他なりません。それは九州では福証にしかできないとの気概を持って役職員一同、取り組んで参ります。

「上場するなら福証へ」「売買するなら福証で」ということで、今年もどうか福証に絶大なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして大発会での挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。